薬局におけるポリファーマシーの取組等に係る

実態調査について

資料3

(R4 第2回協議会より)

- ・病院実態調査により、入院患者に対するポリファーマシー対策 の実態は確認できたが、外来患者に対する取組状況について十 分に把握できていない。
- •「患者数としては圧倒的に外来の方が多いため、薬局又は外来 でどう取り組むのか、こちらの対策が今後の課題」との意見あり。

○薬局実態調査

外来診療におけるポリファーマシー対策や医療機関と薬局との連携状況等の現状を把握することを目的として、薬局を対象としたアンケート調査を実施し、処方適正化への取組状況や認識等について実態を把握し、今後の方策について検討する。

- 積極的な取組等を行っている薬局の把握。
- ・課題の抽出、効果検証の判断材料の一つとして活用。

薬局におけるポリファーマシーの取組等に係る 実態調査について

○<u>薬局実態調査</u>

く項目案>

- •ポリファーマシーに関する認識
- ポリファーマシーの必要性
- ポリファーマシー対策取組状況
- ・加算に関する状況
- ・その他合計30項目程度、 択一式を基本とする

<対象>

•県下薬局

<方法>

インターネット上での回答

1 経営主体	口個人	口法人	口その他	
2 営業形態	口薬局のみ	ロドラッグストア等薬店 併設	口その他	
3 立地	口診療所・クリニック周辺	口病院周辺	□医療モール内	口その他
4 貴局の所在地(2次医療圏)を選択ください。	口福岡·糸島	口粕屋	口宗像	口筑紫
5 貴局の薬剤師数(常動換算)を選択ください。	()名			
6 認定薬局、健康サポート薬局の認定等取得状況(複数回答可)	□地域連携薬局			
7 電子処方せんの対応状況 8 重複投薬・相互作用等防止加算の算定状況を選択してください。	□既に取扱いしている □よく算定する		イメージ	
9 調剤管理加算の算定状況を選択してください。	口よく算定する			
10 服用薬剤調整支援料1、2の算定状況を選択してください。	口よく算定する	/ A	1 . 1	· L
11 地域支援体制加算の算定状況を選択してください。	口よく算定する	(仝	文は別添	、
12 かかりつけ薬剤師指導料の算定状況を選択してください。 13 貴品の処方せんの集中率を選択してください。	□よく算定する □95%超	\工	╱ 「ひ ノ) 」 /か	» <u>د</u>
4 カリニック/ 病院と意見交換会やミーティング、勉強会等は行っていますか。	口1回/週 程度	— * Ę	覧ください	()
5.7 7.7。 15 クリニック/病院へ処方箋に関する疑義照会を行いますか。	口よく行う		見 //こでり	٠,
5リー・・5ノウル・加ナギリサル連邦担保/美がらままに関する東	口よく行う			
17 日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015」はご 存じですか。	口活用している	口読んだことがある	口存在は知っている	口知らない
18 厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用の指針」はご存じですか。	口活用している	口読んだことがある	口存在は知っている	口知らない
19 重複処方除く同効薬の多剤投与について、減薬の提案を <u>行っていま</u> すか。	口よく行う	口時々行う	口あまりしない	口しない
20 重複処方除く同効薬の多剤投与について、減薬の必要性をどの程 度感じたことがありますか。	口よく感じる	口時々感じる	口あまり感じない	口感じない
21 残薬がある場合、主にどのような対応を行いますか(複数回答可)。	□処方薬剤数の調整を医師に提案する	口処方日数の調整を医 師に提案する	口処方薬の見直しを医師に 提案する	口服薬指導を行う
22 在宅訪問を行っていますか	口行っている	口かつて行っていた	口行っていない	
22 在主助向を行っていますが 在主助問時に残薬がある場合、その解消のため薬局で取り組んで 23 いることや工夫していることがあれば教えてください。	()			
貴局ではポリファーマシー対策としてどのような取り組みを行っていますか(複数回答可)。	口お薬手帳や電子処方せ んを利用	口患者とのやり取りや申 し出を注視	口在宅訪問時に確認	口担当医師への処方提系
25 ポリファーマシー対策としてクリニック/病院等と連携して取り組んでいることや工夫していることがあれば教えてください。	口入院前に薬局で持参薬 の整理を行っている	口退院時に薬局に対し て滅薬の情報が伝えら れている	口服薬情報提供書(トレー シングレポート)等を活用し ている	口その他(
26 薬局でポリファーマシー対策に取り組んだ場合に、ポリファーマシー 解消のほか、どのような効果が期待されますか(複数回答可)。	□診療報酬算定額の増加		□医療従事者のポリファー マシーへの意識向上	口患者満足度の向上
27 ポリファーマシー対策に取り組むにあたって必要な点は何だと思い ますか(複数回答可)。	口対象患者の抽出や検討 する時間の確保、そのため の薬剤師	ロクリニック/病院等と の十分な連携	口お薬手帳や電子処方せ んの活用	ロポリファーマシーである の適切な判断
28 ポリファーマシー対策に取り組む上で、行政への支援として求めるものがあれば記載してください。	()			
29 ポリファーマシー対策に取り組む将来的な見通しについて教えてくだ さい。	口既に実施中	口今年度中に実施予定 である (予定している内容:	口来年度中に実施予定で ある	口実施について検討を行 予定である
ご回答いただきまして、ありがとうございました。		1		

福岡県における今後の取組(スケジュール)

	令和5年度(2023年度)					
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月		
協議会		● 第1回		● 第2回		
薬局実態調査事業	調査項目核	食討	間査実施	結果分析		
患者説明用の 啓発資材の作成事業	資材	等検討	事業実施	結果分析		
ポリファーマシー研修会 (多職種向け)						
啓発事業			● 啓発 「薬と健康 の週間」			